

令和5年度 教育事業
「自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成講習」

- 1 趣旨 全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、子供の発達段階に応じた安全な活動を指導できる人材を養成する。

2 日程

- (1) 期 日 令和5年11月3日(金・祝)～5日(日) 2泊3日
(2) 参加者 14名 (内1泊2日の部分履修者4名)
(3) 研修内容

11月3日(金・祝)		11月4日(土)		11月5日(日)	
		6:00	起床・準備	6:00	起床・清掃
		7:00	フレッシュタイム	7:00	フレッシュタイム
12:50	受付	7:20	朝食(食堂)	7:20	朝食(食堂)
13:15	開講式	9:00	講義・実習 「自然体験活動の特質」	8:40	宿舎点検
13:30	ガイダンス前半			9:00	講義・実習 「自然体験活動の安全管理」
14:15	実習 「自然体験活動の技術」	12:15	昼食(食堂)		
		13:30	講義 「青少年教育における体験活動」	12:00	昼食(食堂)
16:30	講義「対象者理解」		※ボランティア養成講習履修者は、ガイダンス・認定試験後解散	12:45	ガイダンス後半
18:15	夕食(食堂)			13:15	認定試験
19:30	講義・実習 「自然体験活動の指導」			13:50	閉講式
21:15	入浴	15:15	講義・実習 「自然体験活動の技術」(野外炊事)	14:00	解散
22:30	就寝				
		19:45	交流タイム		
		20:45	入浴		
		22:30	就寝		

3 成果と課題

(1) 活動プログラムの実際

- ①各講義では、グループワークの時間を多く設け、講師からの一方的なものではなく参加者が主体的となって学べるよう実施した。自然物を使った遊びや、参加者同士で話し合い、メニューや作り方を決めた野外炊事は、参加者の満足度が高かった。
- ②自然体験活動の指導では、「指導の〇カ条」を考える活動をグループワークで行った。様々な意見を参考にして、自分なりの指導者像を描いていけるようにした。
- ③参加者同士の意見交換等を活発にするため、各講義・実習ごとにグループを設けた。

(2) アンケート結果について

- ①教育事業アンケートの満足度(全て満足という評価)は、すべての項目において100%であった。4段階評価の中で、「10」と付けてくれた嬉しい評価もあった。
- ②アンケートの記述からは、「様々な活動をしていく中で多くのことを学び、自然に対する知識や自身の意識を変化させることができた」「自然を味わい楽しむことができた」「指導者として、指導内容の準備や伝え方、導入から終結までの流れ等、とても学ぶことができました」等の意見があった。

(3) 成果と課題

① 成果

- ・今年度の広報は、施設ホームページ等の SNS、国立及び県立青少年教育施設、県内大学、法人ボランティア等に幅広く周知した。その結果、全国各地（東京、埼玉、長野、兵庫、富山）から自然体験活動に興味のある参加者が集まった。
- ・野外炊事の活動では、メニューを決めず、食材と調味料を用意した。その結果、参加者同士が意見を出し合い、メニューから制作工程、役割分担を決めて活動を実施することができた。
- ・安全管理の活動では、基本的なリスクマネジメントの考え方や応急処置等の講義した後、屋外にてシミュレーションをしながら学べるように工夫した。

② 課題

- ・14名の参加者で活動したことは、一人一人の意見等も時間をかけて聞くことができてよかったが、参加者を増やして実施することを考えると、広報先を思案していく必要がある。市内の教育関係機関と連携し、保育士や小学校教諭の参画を進めていくことも効果があると考えられる。
- ・参加者に話を伺うと、防災教育や防災に関連した内容を学べる機会があるといいという意見があったため、次年度以降、プログラムを構成する際に検討する余地がある。

4 事業の様子



【対象者理解】



【自然体験活動の技術】



【自然体験活動の特質】



【自然体験活動の指導】



【青少年教育における体験活動】



【自然体験活動の安全管理】